

インタビュー内容

【特定非営利活動法人プール・ボランティア】

Q 1. 主に行っておられる事業について教えてください。

A. 市民プールで障がい児・者、高齢者にマンツーマンで水泳指導を行っています。
主力は、障がい者支援事業ですが、最近では障がい者対応研修を活発に行っています。

Q 2. 条例指定を取得しようと思った理由や、条例指定取得までのエピソードをお聞かせください。

A. (1) 条例指定を取得しようと思った理由は何ですか。
大阪マラソンのオフィシャル寄附先団体として採択され 2017 年で 2 年目になりました。
大阪マラソンを通じて寄附をいただくことも多くなりました。
またこれによって、企業からの支援、他団体からのチャリティの応援もいただき、活動の輪、支援の輪が広がってきました。
その中で、少しでも支援していただいたみなさんに還元できればと思い申請しました。

A. (2) 条例指定取得までのエピソードは何かありますか。
条例指定取得までにクリアしなければならない項目が多々あり、喉まで「もう取り下げます！」という言葉がでてきていました。
しかし、条例指定の指定基準のなかに「法人その他の団体との連携・協働」という項目がありました。これまであまり「協働」を意識することなく地域企業などと一緒に活動していましたが、改めて考えてみると今までの活動が「協働」になっているなあと。「協働」によって思いもよらない「ツナガリ」や思いがけない「支援の広がり」ができたことを確認できて、本当によかったなあとと思っています。
他の NPO と協働してプール用車椅子を作るなどの新しい試みは、大きな成果です。2018 年はさらにこれを進めていこうと思っています。

Q 3. 条例指定取得後変化について

A. (1) 条例取得に伴い、周囲からの評価が変わったと感じた点はありますか。
長年、認定を取得するために支援者を増やす動きをしてきましたが、最後の一步で認定を取れないのが現状でした。
支援者からすると「まだ？」という感じだったかと思いますが、この大阪府の条例指定の取得で弾みがつき、支援者への信頼が増しました。
大阪府内ばかりでなく全国からの支援者もじわっと増え、また、他府県においてプール・ボランティアと同じ活動を試みようかと思う方も出てきました。公的なお墨付きみたいな感じでとてもありがたいです。
大阪生まれ、大阪育ちということで、この条例指定を大切にしていきたいと思っています。

A. (2) 寄附に関して何か変化がありましたか
まだ、11 月からなので大きな変化はありません。
(インタビュー時：条例指定取得後 2 ヶ月)

Q 4. 多くの方から寄附を集めるためにどのような工夫をされておられるか教えてください。

A. 支援をいただいたら、その活動の様子や成果をユーチューブなどで公開しています。

プール・ボランティアの職員は2名ですが約220名ものボランティア、120名もの利用会員とその家族が応援してくださっています。全員で少しずつ活動の話を口コミで伝えていくようにしています。

遠回りのようで、そこが大事だと思っています。ファン作りです！

Q 5. これから条例指定を取得したいと思っておられるNPO法人へのアドバイスをお願いします。

A. ぜひとも条例指定を取得したほうがよいと思います。

取得までの資料作りや審査のなかで、団体の弱点や強みなどがわかってくるのでよかったですと思います。

認定をすぐに取得するよりも、条例指定を取得してよかったと思っています。